

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公表番号】特表 2015-518668 (P2015-518668A)

【公表日】平成 27 年 7 月 2 日 (2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-042

【出願番号】特願 2015-501626 (P2015-501626)

【国際特許分類】

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

H 0 4 B 7/04 (2017.01)

【F I】

H 0 4 J 15/00

H 0 4 W 16/28 1 3 0

H 0 4 W 24/10

H 0 4 B 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 2 日 (2017.5.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アップリンク多入力多出力モードにおけるユーザ機器 (14) の 1 次ストリーム及び 2 次ストリームのうちの 2 次ストリームの伝送に関して、ユーザ機器 (14) にフィードバックを供給する、基地局 (12) における方法であって、

- チャネル内において前記 2 次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを前記ユーザ機器 (14) に一度の送信で伝送すること (202、401) であって、前記オフセットが、前記 2 次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するときに前記ユーザ機器 (14) によって使用され、前記好適な伝送ランクが、伝送ランクを決定するときに前記ユーザ機器 (14) によって使用される、伝送すること (202、401) を含み、

前記チャネルが、拡張専用チャネル絶対グラントチャネル (E - A G C H) のフォーマットと同じフォーマットを有し、アイデンティティ特有巡回冗長検査アタッチメントを利用する共有チャネルによって定義されたフォーマットを有し、前記チャネルが 6 つの情報ビットを含み、1 ビットが E - A G C H のスコープビットの代わりとして前記好適な伝送ランクを示し、5 ビットが前記オフセットを示す、

方法。

【請求項 2】

前記チャネルが、E - A G C H と同じチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と異なるユーザ機器アイデンティティ又は異なるユーザ機器マスクを使用するか、

前記チャネルが、拡張専用チャネル絶対グラントチャネル (E - A G C H) と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用するか、或いは

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記チャンネルが、前記好適な伝送ランクが変更されたとき、及び / 又は新しいオフセット値が伝達されるべきとき、伝送される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

1 ビットが、ランク変化を示すとともに、特定のハイブリッド自動再送要求（H A R Q）プロセスを標的とするか、又はすべての H A R Q プロセスに適用される、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

1 次ストリーム及び 2 次ストリームのうちの 2 次ストリームの伝送を扱うユーザ機器（1 4）における方法であって、前記ユーザ機器（1 4）が、アップリンク多入力多出力モードにあり、

- 基地局（1 2）から 2 次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを一度の送信で運ぶチャンネルをモニターすること（2 0 3、5 0 1）と、

- 前記 2 次ストリームにおいてデータを伝送するときに前記好適な伝送ランク及び前記オフセットを使用すること（2 0 4、5 0 2）であって、前記オフセットが、前記 2 次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するために使用され、前記好適な伝送ランクが、伝送ランクを決定するために使用される、使用すること（2 0 4、5 0 2）とを含み、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）のフォーマットと同じフォーマットを有し、アイデンティティ特有巡回冗長検査アタッチメントを利用する共有チャンネルによって定義されたフォーマットを有し、前記チャンネルが 6 つの情報ビットを含み、1 ビットが E - A G C H のスコープビットの代わりとして前記好適な伝送ランクを示し、5 ビットが前記オフセットを示す、方法。

【請求項 6】

前記チャンネルが、E - A G C H と同じチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器（1 4）が、前記ユーザ機器マスク又は前記ユーザ機器アイデンティティに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C H を特定するか、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器（1 4）が、チャネライゼーションコードに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C H を特定するか、或いは

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器（1 4）が、チャネライゼーションコード及び / 又はユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C H を特定する請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

1 ビットが、ランクの変化を示すとともに、特定のハイブリッド自動再送要求（H A R Q）プロセスを標的とするか、又はすべての H A R Q プロセスに適用される、請求項 5 または 6 に記載の方法。

【請求項 8】

アップリンク多入力多出力モードにおけるユーザ機器（1 4）の 1 次ストリーム及び 2 次ストリームのうちの 2 次ストリームの伝送に関して、前記ユーザ機器（1 4）にフィードバックを供給するように適合される基地局（1 2）であって、

チャンネル内において前記 2 次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを前

記ユーザ機器（１４）に一度の送信で伝送するように構成される送受信回路（２２）であって、前記オフセットが前記２次ストリームのトランスポートブロックサイズを示し、前記好適な伝送ランクが前記２次ストリームの伝送ランクを示す、送受信回路（２２）を備え、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）のフォーマットと同じフォーマットを有し、アイデンティティ特有巡回冗長検査アタッチメントを利用する共有チャンネルによって定義されたフォーマットを有し、前記チャンネルが６つの情報ビットを含み、１ビットがE - A G C Hのスコープビットの代わりとして前記好適な伝送ランクを示し、５ビットが前記オフセットを示す、
基地局（１２）。

【請求項 ９】

前記チャンネルが、E - A G C Hと同じチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C Hと異なるユーザ機器アイデンティティ又は異なるユーザ機器マスクを使用するか、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C Hと同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用するか、或いは

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C Hと異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用する請求項 ８に記載の基地局（１２）。

【請求項 １０】

前記好適な伝送ランクが変化するとき、及び／又は新しいオフセット値が伝達されるべきとき、前記チャンネルを伝送するように構成される、請求項 ８又は ９に記載の基地局（１２）。

【請求項 １１】

１ビットが、ランク変化を示すとともに、特定のハイブリッド自動再送要求（H A R Q）プロセスを標的とするか、又はすべてのH A R Qプロセスに適用される、請求項 ８から １０のいずれか一項に記載の基地局（１２）。

【請求項 １２】

１次ストリーム及び２次ストリームのうちの２次ストリームの伝送を扱うように適合されるユーザ機器（１４）であって、前記ユーザ機器（１４）が、アップリンク多入力多出力モードにあり、

基地局（１２）から前記２次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを一度の送信で運ぶチャンネルをモニターするように構成され、且つ前記好適な伝送ランクに基づいて、及び前記オフセットに基づくトランスポートブロックサイズで、伝送ランクの２次ストリームの伝送を伝送するように構成される制御及び処理回路（２４）

を備え、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）のフォーマットと同じフォーマットを有し、アイデンティティ特有巡回冗長検査アタッチメントを利用する共有チャンネルによって定義されたフォーマットを有し、前記チャンネルが６つの情報ビットを含み、１ビットがE - A G C Hのスコープビットの代わりとして前記好適な伝送ランクを示し、５ビットが前記オフセットを示す、
ユーザ機器（１４）。

【請求項 １３】

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と同じチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C Hと異なるユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器（１４）が、前記ユーザ機器マスク又は前記ユーザ機器アイデンティティに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C Hを特定するか、

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル（E - A G C H）と異なるチャ

チャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器 (1 4) が、チャネライゼーションコードに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C H を特定するか、或いは

前記チャンネルが、拡張専用チャンネル絶対グラントチャンネル (E - A G C H) と異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つ前記 E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用し、前記ユーザ機器 (1 4) が、チャネライゼーションコード及び / 又はユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティに基づいて前記チャンネル及び前記 E - A G C H を特定する請求項 1 2 に記載のユーザ機器 (1 4)。

【請求項 1 4】

1 ビットが、ランク変化を示すとともに、特定のハイブリッド自動再送要求 (H A R Q) プロセスを標的とするか、又はすべての H A R Q プロセスに適用される、請求項 1 2 または 1 3 に記載のユーザ機器 (1 4)。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

本明細書の実施形態は、基地局、ユーザ機器、及びそれらにおける方法に関する。具体的には、本明細書の実施形態は、1 次ストリーム及び 2 次ストリームのうちの 2 次ストリームのための伝送を構成することに関する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

アップリンク M I M O モードで構成される U E については、シングルストリーム伝送又はデュアルストリーム伝送 (それぞれ、ランク 1 伝送及びランク 2 伝送とも呼ばれる) のいずれかが行なわれうる。デュアルストリーム伝送は、主に、信号対干渉及びノイズ比 (S I N R) が高く、及びチャンネルが散乱を示し、及び / 又は交差偏光アンテナ (c r o s s - p o l a r i z e d a n t e n n a s) が使用される環境において便利である。シングルストリーム伝送が予定されているとき、プリコーディングゲインが代わりにリンクバジェットを改善する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

一態様によると、本発明の目的は、アップリンク多入力多出力モードにおけるユーザ機器の1 次ストリーム及び 2 次ストリームのうちの 2 次ストリームの伝送に関して、ユーザ機器にフィードバックを供給する、基地局における方法によって達成される。基地局は、チャンネル内の 2 次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットをユーザ機器に伝送する。オフセットは、2 次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するときにユーザ機器によって使用され、好適な伝送ランクは、伝送ランクを決定するときにユーザ機器によって使用される。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 0 】

別の態様によると、本発明の目的は、1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ストリームの伝送を扱うためのユーザ機器であって、アップリンク多入力多出力モードにあるユーザ機器における方法によって達成される。ユーザ機器は、基地局から、2次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを運ぶチャネルをモニターする。ユーザ機器は、2次ストリームにおいてデータを伝送するときに、好適な伝送ランク及びオフセットを使用する。オフセットは、2次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するために使用され、好適な伝送ランクは、伝送ランクを決定するために使用される。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 1 】

さらに別の態様によると、本発明の目的は、アップリンク多入力多出力モードにおけるユーザ機器の1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ストリームの伝送に関して、ユーザ機器にフィードバックを供給するように適合される基地局によって達成される。基地局は、チャネル内の2次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットをユーザ機器に伝送するように構成される送受信回路を含む。オフセットは、2次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するときにユーザ機器によって使用され、好適な伝送ランクは、伝送ランクを決定するときにユーザ機器によって使用される。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 2 】

また別の態様によると、本発明の目的は、1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ストリームの伝送を扱うために適合されるユーザ機器であって、アップリンク多入力多出力モードにあるユーザ機器によって達成される。ユーザ機器は、基地局から、2次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを運ぶチャネルをモニターするように構成される制御及び処理回路を含む。制御及び処理回路は、2次ストリームにおいてデータを伝送するときに、好適な伝送ランク及びオフセットを使用するようにさらに構成される。オフセットは、2次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するために使用され、好適な伝送ランクは、伝送ランクを決定するために使用される。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 5 】

【図 1】 図 1 は、本明細書の実施形態による、ユーザ機器及び基地局を示すブロック図を示す。

【図 2】 図 2 は、本明細書の実施形態による、概略的複合フロー図及び信号送信スキームを示す。

【図 3】 図 3 は、E - A G C H のコーディングチェーンを図解するフロー図を示す。

【図 4】 図 4 は、本明細書の実施形態による、基地局における方法を図解するフロー図で

ある。

【図5】図5は、本明細書の実施形態による、ユーザ機器における方法を図解するフロー図である。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

基地局12は、ユーザ機器14の1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ストリームの伝送に関して、フィードバックを供給する。ユーザ機器14は、アップリンクMIMOモードにある。基地局12は、チャンネル内において2次ストリームのための好適な伝送ランク及びオフセットを伝送する。ユーザ機器14は、2次ストリームのための伝送ランク及びオフセットを運ぶチャンネルをモニターする。ユーザ機器14は、次いで、2次ストリームにおいてデータを伝送するときに、好適な伝送ランク及びオフセットを使用する。オフセットは、2次ストリームのトランスポートブロックサイズを決定するためにユーザ機器14によって使用される。したがって、トランスポートブロックサイズはより正確であり、伝送は、MIMOオペレーションにおいてユーザ機器14にとってより最適であり、無線通信ネットワーク10のパフォーマンス低下が回避される。さらに、ユーザ機器は、伝送ランクを決定するときに好適な伝送ランクを使用する。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

図2は、概略的複合フロー図及び信号送信スキームである。一又は複数の実施形態によると、MIMOオペレーションについては、プライマリ(P)-DPDCH上で動作する単一のインナーループパワー制御(ILPC)と、MIMOオペレーションの少なくとも1次ストリーム及び2次ストリームのうちの1次ストリームの質を制御する単一のアウトラープパワー制御(OLPC)とを使用することが提案される。この選択の主な理由の1つは、1次ストリームが「レガシー」ストリームに対応し、且つ2次ストリームがどちらかということ「ベストエフォート」ストリームである状態で、ランク1伝送に対して、閉ループ伝送ダイバーシチ(CLTD)と共通性を保つことである。さらに、ストリーム間で均等に共有されている共通のグラントを使用することができ、これは、パワーがストリーム間で均等に共有されていることを示唆する。ランク1に対して信号送信されたグラント全体に、ランク2に対して信号送信されたグラントの半分又は全体にそれぞれ対応する、有効な(サービング)グラントに基づくレガシーE-TFC選択手順(Legacy E-TFC selection procedure)を使用して、1次ストリームのTBSを決定することができる。結果として、1次ストリームのE-TFCIに基づく手順を介して、例えばプライマリE-DPDCH及び2次E-DPDCHのための、データ送信パワーも決定することができる。レガシー手順(Legacy procedure)は、上位レイヤによって信号送信される、ランクに特有の参照値を組み込むために、MIMOに関して修正することができる。伝送ランクは、伝送する任意の数のストリームを示す。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 3 】

アクション 2 0 1。基地局 1 2 は、例えば、2 次ストリーム上でパイロット信号を受信し、受信したパイロット信号に基づいて好適なランク及びオフセットを決定する。基地局 1 2 は、1 次ストリーム及び 2 次ストリームに対応する 2 つのパイロットチャネル、D P C C H 及び 2 次 (S) - D P C C H を受信することができる。これらの 2 つのパイロットチャネルに基づいて、ユーザ機器 1 4 にサービス提供する基地局 1 2 は、例えば S I R に基づいて、ストリームの質を計算することができ、そこから、ユーザ機器 1 4 が 1 つ又は 2 つのストリームを好ましくは送信すべきかどうかを推定する。さらに、基地局 1 2 は、適切なオフセットを計算することができる。例えば、2 次ストリームに関連するデータ伝送の質を制御するために、ユーザ機器 1 4 は、ネットワークからのフィードバックに基づいて、何らかのグラントを前提として、ユーザ機器 1 4 がどの E - T F C を使用すべきか動的に調整することができる。ネットワーク制御フィードバックを有することの主な恩恵は、基地局 1 2 が、受信した S I N R を計算することができ、且つその値と 2 次ストリームに対するブロック誤り率 (B L E R) 統計値に基づいて、基地局 1 2 が、支持されるべきレートを推定できることである。S I R₁、S I R_{2 1}、及び S I R_{2 2} を、それぞれ、単一のストリーム伝送、1 次ストリームランク 2 伝送、及び 2 次ストリームランク 2 伝送と関連する受信 S I N R とする。線形受信機を想定した場合、ランク 2 伝送にコードを再利用することに起因してストリーム間干渉が発生し、且つ ブリコーディング選択 がしばしば 1 次ストリームを 2 次ストリームより優れたものとするため、すべての場合における同じ合計送信パワー及び同じチャネル条件について、一般的に関係式は、

$$S I R_1 > S I R_{2 1} > S I R_{2 2} \quad (\text{式 1})$$

となる。レガシー E - T F C 選択機構が、S I R₁ に密に結合されているため、ユーザ機器 1 4 は、T B S 選択がサービンググラント及びレガシー E - T F C 選択機構に基づいている場合、ランク 2 伝送のために大きすぎる T B S を選ぶ可能性がある。しかしながら、本明細書の実施形態では、

$$\gamma_1 = S I R_1 - S I R_{2 1} \quad (\text{dB}) \quad (\text{式 2})$$

である、サービンググラントから γ_1 を差し引いた値に基づいて 1 次ストリーム T B S が決定される。

【 誤 訳 訂 正 1 2 】

【 訂 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 訂 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 9

【 訂 正 方 法 】 変 更

【 訂 正 の 内 容 】

【 0 0 2 9 】

一部の実施形態では、E - A G C H 及び A - R O C H は、ユーザ機器のアイデンティティを信号送信するために使用される、基地局 1 2 又は R N C、及び種々のアイデンティティ (I D) 又は U E マスクなど、ネットワークによって構成される種々の チャネライゼーションコード をデフォルトで 사용할 ことができる。ユーザ機器 1 4 は、これらのチャネル両方をモニターすることができる。1 つの実施形態では、ネットワークは、コードリソース及び U E デスプレッダ能力 (U E d e - s p r e a d e r c a p a c i t y) をセーブするために、同じ チャネライゼーションコード を使用する一方で異なる U E マスクを使用するように E - A G C H 及び A - R O C H を構成することを許可されている。これらの実施形態では、E - A G C H 及び A - R O C H は、次いで、時間で分けられて伝送され、ユーザ機器 1 4 は、使用される U E マスクに基づいて、E - A G C H 又は A - R O C H 伝送であるかを、リソース効率の良いやり方で、モニター及び検出する。したがって、チャネライゼーションコード は、効率の良いやり方で種々のチャネルに再利用される。U E マスクは、ユーザ機器 1 4 内に保存される。一部の実施形態では、ネットワークは、異なる チャネライゼーションコード を使用する一方で同じ U E マスクを使用するように E - A G C H 及び A - R O C H を構成することを許可されている。これらの場合では、E - A G C H 及び A - R O C H は、同時に伝送されることができる。A - R O C H は、ランクが

変化しているときは常に伝送される必要があるが、さもなければ、新しいオフセット値、例えば絶対SIRオフセット値 (absolute SIR offset value) を信号送信するためにも伝送されうる。A-ROCHは、CRC保護されているため、チャンネルが検出されるときはいつでも正確な情報がデコードされる可能性が非常に高い。さらに、これらの2つのチャンネルは、異なるUEマスクと異なるチャネライゼーションコードの両方を使用することができる。

【誤訳訂正13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

本明細書の図3を参照すると、E-AGCHは、図3に図解されるコーディングチェーンに従って、基地局12においてコーディングされる。下付き文字の「agv」は、絶対グラント値を示し、下付き文字の「ags」は、絶対グラントスコープ (absolute grant scope) を示し、したがって、「多重化ステップ」への入力は、絶対グラント値 $x_{agv,1}, x_{agv,2}, \dots, x_{agv,5}$ 及び絶対グラントスコープ $x_{ags,1}$ である。

【誤訳訂正14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

アクション303。次いで、チャンネルがコーディングされる。1/3レートの畳込みコーディングが、ビットのシーケンス y_1, y_2, \dots, y_{22} に適用されて、ビットのシーケンス z_1, z_2, \dots, z_{90} となる。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

アクション304。次いで、コーディングされたビット上でレートマッチングが実行される。入力シーケンス z_1, z_2, \dots, z_{90} から、ビット $z_1, z_2, z_5, z_6, z_7, z_{11}, z_{12}, z_{14}, z_{15}, z_{17}, z_{23}, z_{24}, z_{31}, z_{37}, z_{44}, z_{47}, z_{61}, z_{63}, z_{64}, z_{71}, z_{72}, z_{75}, z_{77}, z_{80}, z_{83}, z_{84}, z_{85}, z_{87}, z_{88}, z_{90}$ がバンクチャされ、それにより、出力シーケンス r_1, r_2, \dots, r_{60} が得られる。

【誤訳訂正16】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

アクション305。コーディングされたビットは、次いで、物理チャンネルにマッピングされる。ビットのシーケンス r_1, r_2, \dots, r_{60} は、対応するE-AGCHサブフレームにマッピングされる。ビット r_k は、kに関して昇順に、無線で伝送されるようにマッピングされる。E-DCH伝送時間間隔 (Transmission Time Interval: TTI) が10msに等しい場合、同じビットのシーケンスが、E-

A G C H無線フレームのすべてのE - A G C Hサブフレームにおいて伝送される。

【誤訳訂正 17】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

提案されているA - R O C HがE - A G C Hと同じフォーマットで構造化されているため、A - R O C Hのコーディングチェーンは、E - A G C Hのコーディングチェーンに従う。しかしながら、一部の実施形態で開示されているように、E - A G C Hのスコープビットは、ランクインジケータビットに置換され、絶対グラント値は、オフセット値に置換されうる。例えば、オフセット値は、 $x_{a g v, 1}, x_{a g v, 2}, \dots, x_{a g v, 5}$ の代わりに $x_{o, 1}, x_{o, 2}, \dots, x_{o, 5}$ で示され、ランクビットは、 $x_{a g s, 1}$ の代わりに $x_{r, 1}$ で示される。さらに、多重化されたビットは、 $x_{a g, 1} \dots x_{a g, 6}$ の代わりに $x_{r o, 1} \dots x_{r o, 6}$ で示され、絶対グラントビットの代わりに伝送ランク及びオフセットビットで示される。

【誤訳訂正 18】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

これより、一部の実施形態による、ユーザ機器14の1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ストリームの伝送に関して、ユーザ機器14にフィードバックを供給するための、基地局12における方法及びアクションについて、図4に示されるフロー図を参照して説明する。ユーザ機器14は、アップリンク多入力多出力モードで構成される。

【誤訳訂正 19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

一部の実施形態では、チャンネルは、E - A G C Hと同じチャネライゼーションコードを使用し、且つE - A G C Hと異なるユーザ機器アイデンティティ又は異なるユーザ機器マスクを使用する。一部の実施形態では、チャンネルは、E - A G C Hと異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つE - A G C Hと同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用する。一部の実施形態では、チャンネルは、E - A G C Hと異なるチャネライゼーションコードを使用し、且つE - A G C Hと異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用する。チャンネルがE - A G C Hと異なるチャネライゼーションコードを使用する場合、他の任意のコード多重化されたチャンネルのように、複数のチャンネルを同時に送信/受信することができる。チャンネルは、好適な伝送ランクが変更されたとき、及び/又は新しいオフセット値、例えば絶対S I Rオフセット値が伝達されるべきときに、伝送されうる。

【誤訳訂正 20】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

これより、一部の実施形態による、1次ストリーム及び2次ストリームのうちの2次ス

トリームの伝送を扱うユーザ機器 1 4 における方法及びアクションについて、図 5 に示されるフロー図を参照して説明する。アクションは、後述の順番で行われる必要はなく、任意の適切な順序で行われてもよい。一部の実施形態で実行されるアクションは、破線のボックスで示されている。ユーザ機器 1 4 は、アップリンク M I M O モードにある。

【誤訳訂正 2 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 0】

チャンネルは、E - A G C H と同じ チャネライゼーション コードを使用し、且つ E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティを使用することができる。ユーザ機器 1 4 は、ユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティに基づいて、チャンネル及び E - A G C H を特定する。チャンネルは、代替的に、E - A G C H と異なる チャネライゼーション コードを使用し、且つ E - A G C H と同じユーザ機器マスク又は同じユーザ機器アイデンティティを使用することができる。ユーザ機器 1 4 は、次いで、チャネライゼーション コードに基づいて、チャンネル及び E - A G C H を特定することができる。代替的に、チャンネルは、E - A G C H と異なる チャネライゼーション コードを使用し、且つ E - A G C H と異なるユーザ機器マスク又は異なるユーザ機器アイデンティティを使用することもできる。ユーザ機器 1 4 は、次いで、チャネライゼーション コード及び / 又はユーザ機器マスク又はユーザ機器アイデンティティに基づいて、チャンネル及び E - A G C H を特定することができる。

【誤訳訂正 2 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 2】

ユーザ機器 1 4 及び基地局 1 2 はそれぞれのメモリを含むことができ、各メモリは、一又は複数のメモリユニットを含むことができ、基地局 1 2 又はユーザ機器 1 4 上で実行されるとき、例えば、チャネライゼーション コード、オフセット、ランク、フィードバック、U E アイデンティティ、チャンネルデータ、本明細書の方法を実行するアプリケーションなどのデータを保存するために使用することができる。ユーザ機器 1 4 は、次の A - R O C H メッセージを受信するまでに、メモリ内にランク及びオフセット情報を保持し、A - R O C H メッセージを受信すると、新しい情報でメモリを更新する。